

# 学年通信~夢叶えよう~No.07

新しい年を迎えました。それと同時に学校では三学期を迎えました。一年間の総決算、まとめの3学期です、「一月行く、二月逃げる、三月去る」と言われるぐらい、本当にあつという間の3学期です、高校生活で大きな思い出となる研修旅行、みんなの後輩が田辺高校への入学を目指し努力する高校入試、そしてまとめの学年末考査。ここまで頑張ってきたことを精一杯出しきり、田辺高校生としての最終学年で良いスタートが切れるように、3学期の更なる努力を願います。今年は戌年、ワンダフルな年となりますように、学年団一同、生徒諸君の頑張りに期待します。



## 京都府のインフルエンザが注意報レベル超過

京都府は5日、府内のインフルエンザが注意報レベルを超過したと発表した。感染症発生動向調査の直近第52週（昨年12月25日～31日）で、調査対象1医療機関あたりの患者報告数が注意報の基準となる10を超過して15.68になったため。

地域別では山城南が34.60、山城北が32.76で警報レベルの30を超過。北部も中丹西が19.80、南丹が15.00となっている。

また綾部市では、173人が入所する特別養護老人ホームで年末から5人（入所者4人、職員1人）が発症。うち77歳の男性がインフルエンザ肺炎で4日に亡くなった。

府は、外出後などの手洗い励行▽体調が悪いときは人混みを避け、マスクを着用▽症状のある人はほかの人にうつさないようマスク着用などの「咳エチケット」に努める▽睡眠不足を避け、十分な栄養と休養をとる—ことなどを呼びかけている。（両丹日日新聞 平成30年1月5日掲載記事より）

## 研修旅行に向けて・・・

ふと気が付くと、研修旅行がもう目前に迫っています。もう旅の準備はできていますよね。中学時代にスキー・スノーボード研修をした学校もあり、初めてではない人も居るでしょうが、安心してください、初めてのゲレンデに、大きな不安と、それにも負けないくらいのもっと大きな希望で、胸がはちきれんばかりになっている人も居るでしょうが、大丈夫ですよ。スキー、スノーボードのインストラクターの方々は全てライセンスを持ったプロばかり。初心者から上級者まで楽しめる、基礎から応用までしっかりと指導してくれます。そのために、他所のゲレンデよりも講習班の人数は少なめで、その分密度の濃い講習を受けることができ、上達も早くなります。ゲレンデの雪質は最高でした。下見に行った時も、前の晩に降り積もった新雪がふかふかで、とても気持ちよくゲレンデにシュプールを描くことができました。早くみんなが楽しく滑る姿を見たいなと思っています。



さて、楽しい期待の反面、少し不安なことがあるのでお知らせします。上に書かせていただきました新聞記事によりますと、最新のインフルエンザの患者報告数は京都府北部よりも山城南、山城北が格段に多く、警報レベルを超えてしまっています。楽しい研修旅行ですが、インフルエンザに感染してしまうと、研修旅行に参加することが出来なくなってしまいます。3年前の学年では往路のバス車内で熱が高くなり、初日に宿舎ではなく病院に直行した人がいました。昨年の研修旅行では、かなりの生徒がインフルエンザを発症し、最後まで研修旅行に参加できなかった生徒が沢山出てしまいました。病気にかかってしまうのは仕方がないのですが、折角の高校生活の大きな楽しい行事である、研修旅行を最初から最後まで楽しく過ごしていただきたいので、少し御家庭でも予防について御協力をお願いいたします。

その1、まだ間に合います、可能な限りインフルエンザ予防接種を受けてください。予防接種を受けたからインフルエンザにかからない保証はないのですが、少しでもインフルエンザにかかる可能性を減らI、かかっても発症することが抑えられ、症状が軽く済みます。そのためによりしくお願いいたします。

その2、上で示した記事の最後にありますが、マスクを着用し、睡眠不足を避け、十分な栄養と休養を取ることに。

生徒一人一人が、「当たり前な事を、馬鹿にせず、ちゃんとやる、できるだけ、笑顔で」、校長先生の3学期始業式の式辞での言葉です。外出から戻ったら、手洗い・うがい、人混みを避ける、マスクを着用、十分な休養と栄養、どれもみんなが楽しく研修旅行を過ごすための事です。よろしくお祈りいたします。